

乳房炎の分房を搾る

A

乳房炎(特に急性乳房炎)での初期治療について、まずオキシトシンを尾静脈内注射して搾ることをお奨めしています(併わせて解熱・消炎・鎮痛剤スルピジン 20ml 筋肉内注射も有効)。

今回は、搾り方について若干のコツを述べます (釈迦に説法をご容赦下さい)。

以下の模式図は:

前回の搾乳時には正常だったはずなのに、ミルクがほとんど出ない。
特に赤線で囲まれた部分が硬く腫れている。

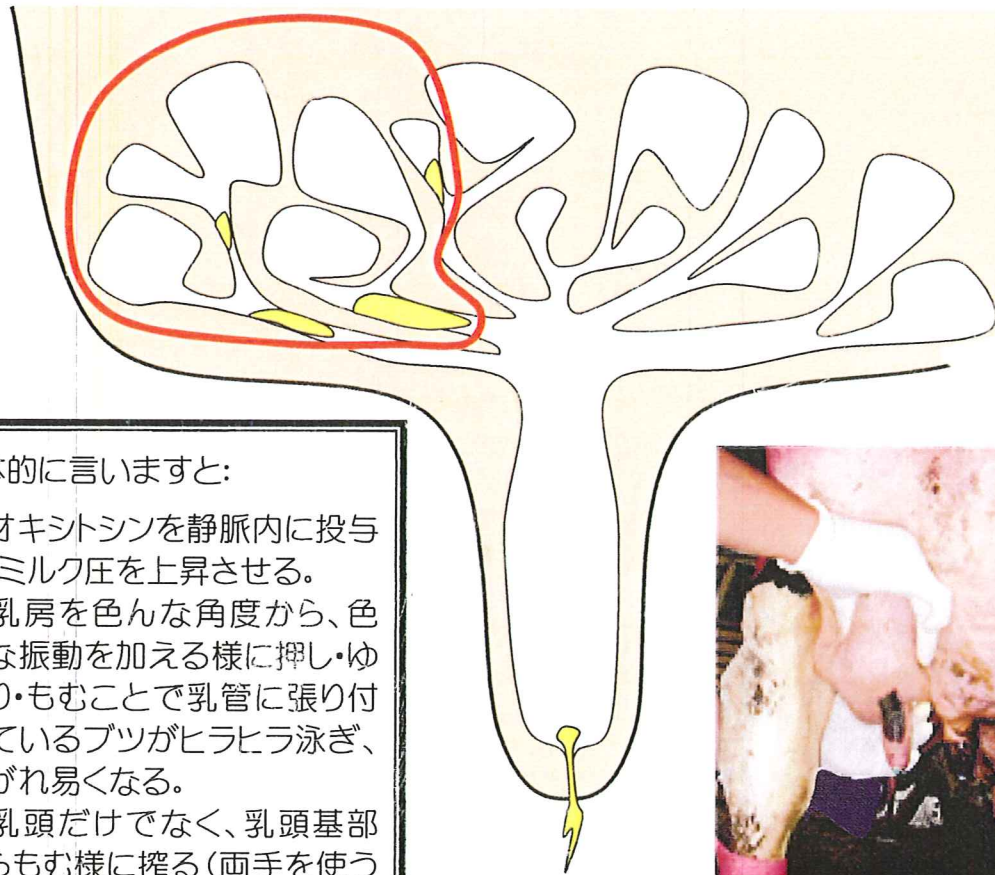
という急性乳房炎の分房をイメージしています。

乳房炎の急性期、痛みと全身性のショックで「乳を降ろさない」状態の時に、オキシトシンを静脈内に投与して搾乳すると意外に乳が出ます。このような時、ズルッと「大きなブツ」がブリッと出たり、つまんで引きずり出すこともありますね。そして、そのブツが出れば出るほど乳房が柔らかくなるし、回復も良いように感じませんか？私は、この大きなブツが乳腺と、乳頭を繋ぐ乳管(にゅうかん)を塞いでいるのだとイメージしています。そして、その現象を例えるならば:

『地震で土砂崩れが起きて、道路が埋まってしまった。その土砂崩れの向こうには集落があり、取り残されてしまった。土砂崩れは数ヶ所で発生しており、取り残された集落は小さいところも、大きい所もある。』と言った感じです。

そこで、乳房炎のブツをはがして取り除く(道路の土砂を取り去る)と、上流と疎通するので流れが良くなり、柔らかくなるのです(乳腺組織自体の炎症の腫れは、この時点では消えませんが)。

では、ブツをはがして流し出すパワーはというと、「上流にあるミルクの水圧」と、「外からの振動と圧力」だと思います。



具体的に言いますと:

- (1) オキシトシンを静脈内に投与し、ミルク圧を上昇させる。
- (2) 乳房を色んな角度から、色んな振動を加える様に押し・ゆすり・もむことで乳管に張り付いているブツがヒラヒラ泳ぎ、はがれ易くなる。
- (3) 乳頭だけでなく、乳頭基部からもむ様に搾る(両手を使う[右写真])ことで流し出す。

※ 器械搾乳や、乳頭の搾乳だけでは、この土砂(ブツ)は取り除けないのです。



★ブログ始めました(休診日更新)。

<http://ameblo.jp/abenorinori>